

平成28年度第2回 小高区地域協議会会議録

- 1 日 時：平成28年5月24日（火）
午後1時30分～午後3時35分
- 2 場 所：浮舟文化会館 第1研修室

・小高区地域協議会委員数：15人、当日出席委員：13人（欠席委員2人）

【出席委員名】

山澤 征 会長、 玉川 敬 副会長、
林 勝典 委員、 橘 由美子 委員、 石井 保夫 委員、
西山 喜代子 委員、 田中 由里子 委員、 只野 和章 委員、
半杭 一成 委員、 石川 清治 委員、 白髭 幸雄 委員、
小林 友子 委員、 杉 重典 委員

【説明職員等】

小高区役所長	安部 克己
小高区地域振興課振興係長	大井 真澄
同課振興係主査	村井 洋幸
同課振興係主査	青田 吉彦（書記）
経済部次長兼商工労政課長	星 高光
同課企業支援係長	寺島 政博
鹿島区産業建設課長	上野 勝
同課農林水産係長	東岡 裕晃

1. 開 会

○事務局

本日の欠席委員は水谷委員、小牛田委員です。また、橘委員からは、若干会議に遅れるとの連絡をいただいています。

協議書10（2）により、現在11人の委員の出席を頂いており、過半数

を超えていることから、本日の会議は成立しております。

それでは、会長からご挨拶をお願い致します。

2. 会長挨拶

(山澤会長あいさつ)

3. 議事

(1) 会議録署名人の指名

○会長

それでは、『会議録署名人の選出』を議題といたします。

会議録署名人として、西山 喜代子 委員、石井 保夫 委員の2名を指名いたします。

(2) 報告事項

① 復興工業団地へのロボットテストフィールド誘致について

○会長

次に、報告事項①『復興工業団地へのロボットテストフィールド誘致について』を議題といたします。

担当課の説明をお願いします。

(担当課：商工労政課 資料により説明)

○会長

それでは、ただいまの説明について質問があれば、お願いいたします。

○林委員

誘致することで、地元の雇用はどれくらいになると考えているのか。

○商工労政課長

この施設の直接雇用は多くはないと考えており、100名以下になると思われま

す。ただし、新たなロボット産業の集積が図られることから、今後、多くの雇用が生み出されると思われま

○林委員

関連企業の進出を待つということか。

○商工労政課長

はい。

○会長

東北電力の跡地も入るのか。

○商工労政課長

東北電力の原子力発電所旧予定地で、浪江側の一部に滑走路が整備される予定です。

○白髭委員

共同利用施設のイメージ中で研究棟とあるが、この研究棟には、研究者が常駐するのか。

○商工労政課長

この施設には、福島県ハイテクプラザの浜通り分室が設置される予定です。具体的な研究施設や研究者については確認していません。

○白髭委員

どこかの大学が主体になってやるということではないのか。

○商工労政課長

各企業や大学が利用する施設と聞いていますが、常駐の形ではなく年間を通じて、研究開発をする機関がこちらにお出でになるとこのことです。

○会長

ほかに、質問ございませんか。

(『なし』の声あり。)

○会長

それでは、報告事項①については了とします。

② ことぶき荘の用途廃止及び財産処分について

○会長

次に、報告事項②『ことぶき荘の用途廃止及び財産処分について』を議題といたします。

担当課の説明をお願いします。

(担当課：鹿島区産業建設課 資料により説明)

○会長

それでは、ただいまの説明について質問があれば、お願いいたします。
(『なし』の声あり。)

○会長

それでは、報告事項②については了とします。

(3) その他

① 小高区復興拠点整備事業について

会長

次に、その他①『小高区復興拠点整備事業について』を議題といたします。
担当課の説明をお願いします。

(担当課：小高区地域振興課 資料及び拠点整備施設の計画イメージ映像により説明)

○会長

それでは、ただいまの説明について質問及び意見があれば、お願いいたします。

○田中委員

小高区民はワークショップを理解していない。きちんと地域説明会、地元説明会を開いて欲しい。

また、医療施設がない。せめてクリニックを作って欲しいという声をよく聞く。そういう考えはないのか。

○小高区役所長

昨年の行政区懇談会の段階で説明しておりますが、基本計画を策定中ですので仕上がってからもう一度、行政区懇談会で説明したいと思っております。

また、ここに医者を入れてはというお話ですが、人が訪れる交流の場というのがコンセプトですので、課題として厳しいです。

平成29年4月には商業高校、工業高校が移り、小中学校も再開されることですので、子供がここに集まって頂きたい。また多くのお年寄りがここに集まりお話しして、コミュニティを構築して頂きたい。

○田中委員

既存の駐車場だけでは足りないのではないかと。

○小高区役所長

駐車場に付きましては資料にございますが、当面は周辺の駐車場を利用頂き、拠点整備が出来た経過を踏まえ、随時整備を検討していきたいと考えております。これで終わりというわけではございません。

○西山委員

できれば子供の遊び場を中心に持ってきて頂きたい。

線量が心配で屋内の遊び場も必要だと思うが、できれば外で遊ぶ遊具を中心に置いて、例えばその周りにお買い物をする場所があれば、若いお母さんたちは子供を遊ばせながらお買い物をして帰ることができる。

先ほど駐車場の話が出たが、なるべく近くに駐車場を作り、お年寄りも子供たちも直ぐに施設に行けるように考えて頂きたい。

巡回バスがないとここに来られない方も沢山おられるので、その辺も考えて頂きたい。

○小高区役所長

駐車場に付きましてはご指摘の通りでございますが、状況を判断しながら整備を検討していくという考えでおりますので、ご理解頂きたいと思っております。

子供の場所が中央ということですが、設計者と十分協議した中身でございますが、真ん中にしてしまうと効率的でなくなるということで、西側に、屋内広場と、はらっぱをつなげて遊べる配置になっております。真ん中に持ってくるのは設計上難しいということで、ご理解頂きたいと思っております。

巡回バスについてですが、現在、小高ジャンボタクシーが回っている状況です。市民説明会でご説明いたしましたが、住民のみなさんの利便性をきちんと把握して見直すことで対応していきたいと思っております。

○西山委員

この多目的広場というのは、何か目的があってここに設置しているのか。これを移動すれば中心に子供の遊びスペースができると思うが無理なのか。

結局この多目的広場は無駄なスペースだと思う。これを真ん中に持ってきて遊具を置けば子供たちが遊ぶことができるのでいいと思う。

○小高区役所長

コンセプトがございまして、管理事務所から入り口にあるイベント広場から人が集まる場所や、お年寄りや子供たちが遊んでいるのが見渡せるように設計をしております。

○西山委員

チャレンジショップをむしろ上に持って行ってはどうか。どなたかが何かを販売するところであれば、地域マルシェなどもなるだけ人が集まる場所に持っていくべきだと思う。道路を挟んでいることで寄らずに帰ってしまう人もいると思う。

○小林委員

この検討委員会にはずっと出ていたため、ここまでに至る経過はある程度理解できるが、地権者の同意が得られず、狭くなったのが現実。そこに何を入れるかが大事なことであって、全部入れることが問題になる。何が一番必要か、この場で検討できればいいと思う。

また、計画が縮小されたことによって、予算が安くなったのか、この計画案が変更可能なのか、それはいつまで可能なのか伺いたい。

○小高区地域振興課振興係長

変更についてですが、実施設計がほぼ固まりつつあることから、軽微な変更は可能ですが、大規模な移動等についての変更は困難になっております。

費用につきましては、敷地が53%ほどになったことから、当初全体事業費として概算事業費30億円程度と説明してきました。こちらの規模になりますと、約10億円程度縮減になるのではないかとということで検討しております。

○只野委員

来年の4月、一応小中学校が小高に戻れるかもしれないということで、小高に通う子供たちのために、この施設を十分に使っていったらいいのかなと考えている。震災前に各学校でおこなっていた、預かり保育や学童保育を、ここの場でもおこなうことができれば、子供たちが、帰宅後安心してここで遊べるとか、親御さんも安心して子供を預けられる状況が生まれてくるのかと思う。

少人数であれば、こういう施設を使って幼稚園的な幼児が預けられるようなこともできたりすると思う。しかも他の高齢者の方と交流できるということができれば、もっと小高が魅力的な街になるのかなと考えます。

お医者さんを入れることができないという話もあったが、機能的にもっと充実したものをどんどん取り入れていけば、もっと素晴らしい施設になっていくのかなと思うので、その辺を検討頂ければ思う。

○小高区役所長

まず幼稚園、保育園につきましては、今、小高幼稚園を改築致しまして、

30年4月から認定こども園という形で再開しようと考えております。子育て支援センターになるわけですが、そういうものを小高幼稚園で実施する計画になっています。

また、ご提案がございました学童保育、預かり保育ですが、小学生の保護者がお仕事で忙しいことから学校で預かっているというわけですが、それにつきましてはこの拠点を活用して行うということもできるかもしれません。小高の学童保育につきましては2階、3階の多目的ホールを使っていました。指導員も付いてきますので、十分できると思います。

医療機能という話もありましたが、開設後、地域の課題として解決していく必要があると考えています。

○杉委員

大半の方がこういうものが出来ることを分らない、理解していない。これが現状かと思う。理解度を高めるためにもっと、行政のほうとして考えていかななくてはならないと思う。地域の集まりで説明してもいいと思う。

もう一つ、維持管理はどのくらい予定しているのか、また、そのお金はどこから出てくるのか。

○小高区役所長

施設が出来ることを分らないということは、本当に申し訳ないと思っております。役所のほうでもいろいろな手段を使いまして、多くの方にお知らせしていきたいと思えます。

また維持管理でございますが、現在見直しているところでありますが、当初は6千万位かかると見えています。使用料も取りますので、一般財源としては3千万位の持ち出しになるというのが、粗々な計算です。

運営方法ですが、どのようにするかは今後の検討課題でございますが、一番いいのは指定管理者でございますが、具体的に進めていきたいと思えます。

○杉委員

利用頻度的なことについて。住民が少ない中での利用者数。例えば、風呂の設備、会議云々についてはもうある。そういった中で新たに作ることに對しての利用状況はどのくらいになるのか教えていただきたい。

○小高区役所長

ここの施設には、前の計画ですと、一日200人くらい、老人や子供たちが集まるものと計算しておりましたが、一日あたりの利用人員につきましては、コンサルタントに計算をさせているところでもあります。

○杉委員

トレーニングルームにしても、小高体育センターに同じようなものがあるため、ダブったりしないのかと思う。

○会長

老人福祉センターの風呂の問題もある。

○小高区役所長

この施設には、お湯がいつでも沸いているようなお風呂は作りません。宿泊者があった時に、必要あったときに沸かして使うというもので考えています。田中委員のおっしゃるように、確かに、ここに医者を置くという考え方もあります。そして、隣にパークゴルフ場があって、集まったお年寄りが、終わった後にお風呂に入れるということになれば、ひとりでに人は集まってきます。そこまでの施設の計画にはなっておりません。

○林委員

えんがわサロン、お座敷サロンなどの名目があるが、これは何を目的として使用するのか。

○白髭委員

先程、基本設計の段階なので変更は不可という話だが、ワークショップを今までやってきても、ほとんど私の要望は活かされていない。この地域協議会の意見でいいのではないか。皆さん、各界を代表されているわけだから。そこで最終決定し基本設計に持っていく。これが動かせなくなったではどうしようもない。

設計をやり直したらお金は掛かるが、それぐらいやっても構わないのではないか。

○玉川委員

ワークショップをここまでやってきて、設計変更というのはなかなかできないですよ。

○白髭委員

ワークショップは土台なので、さっきの話を聞けば、これのレイアウトの仕方とか、ワークショップではこの配置を決めたわけではない。欲しいものの要望を聞いただけだ。もう動かせないというのは如何なものか。

○玉川委員

地域協議会で決めるのではなく、建設委員会などを作ってやることです。

○小高区役所長

この図面に至るまでは、平成25年から会議が始まっておりまして、基本計画については、ワークショップを6回やっています。商工会との懇談会についても6回くらいやっております。それから農業者懇談会、小高区民の懇談会、そういうものを積み重ねまして、この計画書を作ったわけです。

白髭委員がおっしゃったように、これまで地域の人たちが集まって、今までいろんな議論を重ねてきて作ったものですから、ワークショップの意見を踏まえたものとなっています。

○田中委員

何が本当に大事か、レイアウトをもう少しこうしたほうがもっと活きるのではないかという、今回の提案だと思う。

○小高区役所長

議員の方々とも、皆さんともお話ししましたが、このレイアウトというのは個人個人の意見が違いますので、簡単には結論はできません。ただ設計者の提案を受け入れたのではありませんし、役所でも、何回も議論をしてきました。ワークショップで提案を受けて、役所の中でも、ワークショップでの意見を尊重しながら、進めてきたものです。

○林委員

現在の敷地をもう少し広くすることはできないか。

○小高区役所長

地権者8名の方について、用地交渉ということで、何度も足を運んできましたが、なかなか厳しい状況で、このような形でワークショップに提案をしてきました。

○会長

委員から意見がありましたが、真ん中に動かすことができるのであれば、動かしていただく、できないのであれば、子供とおばあちゃん、おじいちゃんが触れ合えるような形が取れるように工夫をお願いしたい。

○小林委員

次回の会議に、設計者に来ていただいて、話を聞くことはできないか。

○会長

できない。

○林委員

先ほど、子供の遊び場に腰板は無く、他のスペースと見通しができるようになっていると説明されましたか。

○小高区地域振興課振興係長

腰板はありません。

○小高区役所長

この施設の計画については、再度、事業内容を、次回の7月に行う会議で情報提供をさせていただきます。

○会長

では、次回の協議会で報告を受けるということで、よろしくお願いします。

② 委員視察研修

○会長

次に、その他②『委員視察研修』について議題といたします。
事務局からの説明をお願いします。

(担当課：小高区地域振興課 資料により説明)

○会長

ただ今の研修視察の件、去年度は大雨の中行ってきました。茨城県ですが、真ん中に広場があって、周りがお店という感じだった。真ん中がイベント広場になっている、そういったところに行ってきたのですが、今回は更に子供中心のところですよ。みなさんからの案があれば、事務局のほうに申し出て頂いて、勉強していきたいと思う。

○白髭委員

日程の8月21日出発、22日は大丈夫なのか。お盆月で、28日、29日は大丈夫だと思うが。この辺はどうなのか。

○会長

それはまた持ち帰って、調整します。

③ 次回会議開催日程について

○会長

次に、その他③『次回会議開催日程について』を議題といたします。
事務局からの説明をお願いします。

(事務局 資料により説明)

○西山委員

小名浜や西白河の小学校を屋内遊び場にしたところを見にいった、そこにある遊具を視察して、子供たちが喜んで遊べるような拠点になるよう是非お願いしたいと思う。

○小高区地域振興課振興係長

研修のご意見として、検討させて頂きたいと思います。

○西山委員

よろしくお願いしたい。

そういうところは是非、市の予算で研修に行って写真を撮ってきて、そういうものを作って頂きたい。

○会長

分りました。

では、長時間に渡りまして、今日のテーマは無事終わりましたので、この会議は決したいと思います。

○会長

その他、各委員、事務局から何かございませんか。

○只野委員

解除に伴い小中学校も来年4月に戻ると言われている。その中でやはり、問題点が多岐にわたりいろいろ出てきている。それを地域協議会の中で話し合いを充実させてやっていきたいと思っている。今後の議題として、そういった帰還に向けた議題もして頂きたいと思うので、よろしくお願いしたい。

○会長

ほかになれば、長時間に渡りましたが、以上で、第2回の地域協議会を終了したいと思います。ありがとうございました。

4. 閉 会 （午後3時35分）

平成28年度第2回小高区地域協議会会議録

会議録署名人

石井保夫

会議録署名人

西山喜代子